

インクルーシブ教育を推進するためのチームリーダーの在り方についての一考察～校内研修会を中心とした取組から～

学籍番号 17AX007

氏名 武田 翼

要旨

本研究は、インクルーシブ教育を推進するために校内研修会を実施し、教職員一人一人のインクルーシブ教育への意識を向上させることにある。平成24年、中央教育審議会初等中等教育分科会の「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進」（報告）において、障害のある者と障害のない者が共に学ぶ仕組みづくりとしてインクルーシブ教育システム構築の重要性を述べられている。この中で、生徒の教育的ニーズに応じた「合理的配慮」は学校の設置者及び学校に委ねられていることがわかる。共生社会の形成に向けた取組が近年高まりを見せる一方で、学校現場での具体的な授業や支援の場で何を考慮すべきなのか、インクルーシブ教育の具体的手立てを校内で共有する必要がある。全教職員のインクルーシブ教育の意識を高める場として、校内研修会を実施した。校内研修会を企画する過程で、「インクルーシブ教育における教職員に求められる資質・能力」を5つに分類し、それらに適したテーマを内容にした。

さらにそれらの取組を手掛かりとして、学校全体をインクルーシブな学校へ導くことができるチームコーチングの視点に立ったチームリーダーの在り方を探ることも目的である。チームリーダーには個人の業務に能力を発揮することはもちろん、学校を一つのチームとしながら全体をあるべき姿に導くチームコーチングの視点に立つことが重要である。校内研修会后、チームリーダーの役割を6つの視点に分けて考えることができた。チームリーダーには教員としてのロールモデルの役割があり、日々の授業を始めとする様々な教育活動において、専門的かつ柔軟な視野の広さが求められる。